

地域密着型経営で地域に貢献

国立大学法人 宮崎大学
地域資源創成学部 教授 博士(経済学)

吉田 雅彦

Masahiko Yoshida



株式会社日向中島鉄工所が、めでたく創業50周年を迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。

島原 俊英 代表取締役社長様はじめ株式会社日向中島鉄工所の皆さまには、宮崎大学に地域資源創成学部（略称「地域学部」）が設立された2016年から、学生に対する授業や企業見学の受入れなどでご指導を賜っております。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

地域学部では、1年生の4月から、学生自身が将来の人生設計を考えるために、各界で仕事を究めた方々に、それぞれの道で「働く喜び」を語っていただく授業をしております。島原社長様にはものづくり、中小企業経営など仕事に関わることに加えて、人生をどう生きるかについて毎年お話しをさせていただいております。学生からは「社会は常に変化していて自分たちは一生勉強していかなければならないと思った」「信用第一という会社の社是に共感した」「何のために生きるのか人生の目的を決めて生きることが大事だということがわかった」といった感想が寄せられました。

企業見学では、本社工場と株式会社 ひむか野菜光房をご案内いただき、「人材育成に力を入れ、会社が持続できる仕組みづくりをされている」「社長が視野を広く持っているので、経営や業務の幅も拡大されている」「新しいことへ挑戦しているので独自性を創出している」「中小企業ならではの地域密着型経営で地域に貢献している」といった気づきを学生が得ることができました。

2000年頃を境にして今の時代は、日本をはじめとする先進国の優れた大企業であっても単独で技術開発や製品開発をするのではなく、それぞれの分野で力を持った中小企業や、必要な技術を研究している大学教員などと組んでビジネスモデルを作っていくオープンイノベーションの時代になっていると言われております。オープンイノベーションを行っていくには、ともにプロジェクトを進めるパートナーとの信頼関係が最も重要になると言われています。そのような時代の中で、御社は世界の動きを感じ取りながら、信用、誠実、協力、共生という社是の元で、これからも重要な役割を果たしていかれるであろうことを確信しております。

御社の今後のますますのご発展と、島原社長はじめ皆さまのご健勝を祈念いたしまして、50周年に寄せてのお祝いとさせていただきます。